

2025 年日本国際博覧会 大催事場基本設計業務 事業者選定結果について

本事業について、公募型プロポーザル方式により事業者を募集し、下記のとおり最優秀提案事業者を選定しましたので、お知らせします。

1. 審査手法

事業者（4 者）から提案のあった内容について、3 名の評価委員による審査を行い、最優秀提案事業者を選定しました。

【評価委員会の開催日】

- 一次審査 2021 年 10 月 4 日（月）
- 二次審査 2021 年 10 月 18 日（月）

【審査手法】

一次審査（書面審査）により二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング審査）への通過者を 3 者選定し、二次審査において最優秀提案事業者を選定しました。
それぞれ、評価委員会委員による採点（100 点満点）を行いました。なお、二次審査には一次審査の評価点を持ち越していません。

2. 審査結果

（1）最優秀提案事業者

- ・株式会社 伊東豊雄建築設計事務所
評価点 87.4 点

（2）提案事業者（50 音順）

- ・梓設計・ノイズ設計共同企業体
- ・株式会社 伊東豊雄建築設計事務所
- ・株式会社 久米設計 大阪支社
- ・株式会社 大建設

3. 評価点（得点順） ※二次審査の結果のみ記載

- ① 87.4 点
- ② 76.4 点
- ③ 73.0 点

4. 最優秀提案事業者の選定理由（講評）

- 1970 年の日本万国博覧会の象徴であった太陽の塔を連想させるシンプルで象徴的な外観デザインで、万博らしい提案となっている。
- 前面広場はにぎわいを生み出し、一体感のあるホールに来場者を迎え入れる提案となっている。
- 屋根上部の仕様やホール内のロイヤルボックスの配置、環境負荷低減については更なる検討を期待している。

5. 評価委員会委員（50 音順、敬称略）

氏名	所属・役職	選任理由
佐藤 可土和	クリエイティブディレクター	日本を代表するクリエイティブディレクター、アートディレクターとしての豊かな見識と経験を活かし、審査を行っていただくため。
妹島 和世	建築家	日本を代表する建築家としての豊かな見識と経験を活かし、審査を行っていただくため。
藤本 壮介	2025 年日本国際博覧会 会場デザインプロデューサー	2025 年日本国際博覧会会場デザインプロデューサーとしての立場から、万博会場のコンセプトや基本構想などを踏まえて審査を行っていただくため。

以上